

2009年度

科目名	ボランティア論		
担当教員	岡島 克樹		
配当	教福1・人社1	コード	44500
開期	後期	講時	木曜日4限
		単位数	2
授業テーマ	「ボランティア」とは何か？		
目的と概要	日本では、日本の社会システムの変化という長期的(構造的)背景とともに、阪神・淡路大震災などの短期的な要因をきっかけとして、ボランティア活動がより活発化し、一定の注目を受けるようになった。本講では、(1)ボランティアを戦後日本の歴史の中に位置づけ、その背景思想・主要分野・担い手等における歴史の変遷を見るときともに、(2)実際にボランティアが活発に行われている分野を幾つか取り上げて、ボランティアとは何かを考える。		
成績評価法	(1)期末試験(70%)、(2)授業時の小課題(30%)を基に判断する。		
テキスト	とくに定めない。		
参考書	適宜、紹介する。		
履修に当たっての注意・助言			
講義計画			
<ol style="list-style-type: none"> <li>1. はじめに:ボランティアの経験—岡島の場合</li> <li>2. ボランティアの基本要素(その1)</li> <li>3. ボランティアの基本要素(その2)</li> <li>4. ボランティアの基本要素(その3)</li> <li>5. ボランティアの歴史(その1):海外の場合</li> <li>6. ボランティアの歴史(その2):日本の場合(戦争直後等を中心に)</li> <li>7. ボランティアの歴史(その3):日本の場合(1970年代から1980年代)</li> <li>8. ボランティアの歴史(その4):日本の場合(1990年代以降)</li> <li>9. ボランティアの背景(その1):支援行政の動き</li> <li>10. ボランティアの背景(その2):新自由主義</li> <li>11. 外部講師によるレクチャー</li> <li>12. 外部講師によるレクチャー</li> <li>13. 外部講師によるレクチャー</li> <li>14. ボランティアを始めるに当たっての留意事項・レポート作成上の注意点(重要)</li> <li>15. まとめ</li> </ol> <p>本講では、予算の許す範囲において、大学の外にある人材を外部講師として学内に招き、ご自身が持っておられるボランティア体験について語っていただく。外部講師が話をされる回については必ず参加するようにしてください。外部講師が来校される日程は当該外部講師のスケジュールに左右されるため、必ずしも上記にあるように11回目以降に集中するとは限らないので、注意すること。</p>			